

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市東四郎丸児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人 FOR YOUにこここの家	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 10,477人(前年度比 111.5%) ・令和3年度 9,394人 ・令和2年度 9,305人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 28,564千円 (28,672千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、にここ児童館応援隊、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援及び家庭支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。 なお、年間通して計画的に放課後子ども教室と連携を図り、放課後児童クラブと放課後子ども教室の子ども達に多彩な体験の機会を提供しながら、活動を通して交流を深め地域の子ども同士が繋がる支援を行っている。	20/19

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人 FOR YOUにこにこの家）による自己評価》
<p>「子どもの未来を応援する児童館」「手をつなぐ児童館」として児童の健全育成に努めることを理念とし、地域・学校・福祉施設と共に事業に取り組んできた。健全育成事業として、ハロウィン創作や活動報告会など放課後子ども教室とコラボ事業を行い児童間の交流や自主性を育てることができた。また、支援してくださる関西の方々と3.11のイベントを行い、改めて防災について考える活動ができた。子育て支援事業としては、年間16回にこちゃんルームの活動を行い、参加者からは、遊びや創作活動、相談等を通して子育ての不安が減り、育児を学ぶ交流の場になったとの意見が多く、成果を実感している。</p> <p>地域交流推進事業として、8月には民生委員の方からその仕事について話していただいたり、福祉施設の七夕飾りを見学するなどの活動を行い、地域交流を図ることができた。学コミかっこ和太鼓隊は、東中田市民センターまつり、仙台市青少年健全育成大会で演奏を披露した。会場の多くの方々から真剣に取り組む子どもたちの姿を褒めていただき、子どもたちは演奏することの喜びを味わうことができた。</p> <p>児童クラブについては、コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、児童の安全を優先し、個別の運動や創作活動を中心に体力の向上や創造力の育成を図ってきた。そして子どもたちの自己肯定感を育てるために、できたことを賞状に記載して渡したり、お互いのよさを認め合う場を作ってきた。12月には保護者や児童館を応援してくださる地域の方々や校長先生、仙台市生涯学習課、アーチル、家庭健康課の方々に来ていただき、子どもたちが活動報告を行った。自分たちの活動を励まし、評価していただいたことが子どもたちの自信や達成感にもつながった。今後も児童館運営の4つの柱を念頭に、学校教育、家庭教育、社会教育が重なり合って、子どもたちの笑顔を未来につなげていけるように児童館運営に努めていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、放課後子ども教室と連携を図り、月1回交流企画を実施した。小学校体育館でのドッチビーやハロウィンでは放課後子ども教室の児童が来館して、児童館での生活体験をしながら一緒に衣装を作る等積極的に活動の幅を広げ、児童に多様な活動の場を提供している。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、「にこちゃんルーム」を年間通して開催し、工作や運動遊び・季節のイベント等多彩な活動を提供している。「にこちゃんルーム」の日は近隣のたんぼぼホームの職員が来館し、乳幼児親子と一緒に遊びながら顔の見える関係が構築できるよう支援する等、保護者が気軽に相談できる環境作りに努めており、地域の関係機関と積極的に連携を図りながら子育て家庭を支援している。</p> <p>地域交流推進事業においては、「かっこ和太鼓隊」で、近隣の小中学校5校の子ども達・保護者・教職員・地域の方と共に活動し、広域での異年齢・多世代交流を図りながら地域のイベントに参加することで、社会性を育むと共に地域に向けて児童館事業の認知向上に努めている。近隣の高齢者施設へ七夕や敬老の日にプレゼントを届けたり見学に行ったり、老人クラブと共同で飾りを作る等、コロナ禍でもできる交流を続けている。東中田子育てネットワークやほっとネットin東中田、袋原中学校区学びのコミュニティ等、地域の方々や関係団体と連携を図り、地域全体で子どもの育ち、子育て家庭を支える環境作りに努めている点が評価できる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、「チャレンジひろば」「スタディひろば」「スポーツひろば」を年間通して実施している。「チャレンジひろば」では、学年・年齢に応じて制作工程を配慮して、多様な創作活動等を行った。「スポーツひろば」では、年間通して竹馬・縄跳び・フラフープ・お手玉等いろいろな遊びに取り組めるよう環境を整え、春休みに記録会を開催して、一年間の子ども達の成長や頑張りを多くの人に認められる場を作っている。これらは子ども達が達成感、満足感を感じ、遊びへの意欲と関心を高めると共に自主性や社会性を育む取り組みとなっている。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課